

JAやまがた 5

2017

山形市・上山市
山辺町・中山町

広報紙 JAやまがた

2017 / 5月号

発行 / 山形農業協同組合

〒990-8535 山形市赤松町1-12-35 TEL.023-641-3121 FAX.023-631-4714 <http://www.jayamagata.or.jp/>

プロに学ぶ
やまがた
旬の料理

旬のアスパラガスで
フランス料理の前菜を
ご家庭用に簡単アレンジ



アスパラガスのサラダ

●材料 (2人前)
アスパラガス (太) … 2本
ベーコン… 30g
【ドレッシング】
マヨネーズ… 25g
パルメザンチーズ… 5g
にんにく (すりおろし) … 1g
塩… 少々
生クリーム… 30g

ワンポイントアドバイス

生クリームを泡立てる
ひと手間ですわっとした
食感の仕上がりになり
ます。茹でた新じゃが
やサラダで和えても
美味しいですよ。



佐藤善太郎 / 『Cafe & Dining 990』 / クラシカルな
雰囲気の空間に彩りのあるスイーツ、フランス料理の
数々。地産地消に目を向けた新鮮な野菜、魚などの無
添加食材を中心とした料理を味わえる。 / 山形市十日
町2-1-8。TEL.023-679-5103、営業時間 平日11:00
~21:00、金・土・祝前日は22:00まで。水曜定休。



1 アスパラガスは根元半分をピーラーで削
る。沸騰した湯に強めの塩を入れ、根元
を10秒入れてから全体を入れ茹でる。

2 色鮮やかになってきたら早めにとり、氷
水にあげる。5分程つけたらキッチンペ
ーパーできっちり水分をとる。



3 ベーコンは短冊切りし、少しのサラダ油
でじっくりと炒める。皿にあげてしばらく
おくとカリカリになる。



4 【ドレッシング】生クリームを氷水にあて
て2~3分泡立てる。マヨネーズ・チーズ・
にんにく・塩を混ぜたボールに加え、さ
らに混ぜる。

02 特集 JAの未来

JAやまがた ハウス団地構想始動!

06 農業情報

12 旬の料理 アスパラガスのサラダ



JAやまがた
公式
Facebook

読書の
ススメ

新しい発見を
あなたに



購読申し込み
経済課 TEL.023-624-8567

毎日ラクする
頼れる主菜の作り置き

小林まさみ 著
定価 (税込) 1,404円
主菜の作り置きをテーマにしたはじ
めてのレシピ本。テレビなどでおな
じみの著者による時短&おいしいア
イデアが満載。時間がたってもおい
しく、忙しい日でもこれさえあれば
今夜のおかずにも安心&満足できる。



寄せ植えや庭づくりに役立つ
草花の選び方・使い方ノート

黒田健太郎 黒田和義 著
定価 (税込) 1,620円

入手しやすい草花 230種の出回り
時期や苗の選び方、育て方をフロ
ー黒田園芸が丁寧に解説。寄せ植え
の美しい組み合わせや庭植えのコツ
を、実例写真とともに紹介。植物の
個性を生かした楽しみ方がわかる。



JAやまがた ハウス団地構想始動！

JAやまがたでは、新たな農業振興のモデルである「野菜・果樹ハウス団地構想」の実現に向け、プロジェクトチームを組み協議を進めています。今回はこのプロジェクトの内容について、営農経済部の森谷部長にお話をお伺いしました。

産地を維持するためにも 後継者を育てていきたい

——このプロジェクトを行うことになったきっかけを教えてください。

森谷 JAやまがたも合併20周年を迎えましたが、農家の高齢化が進み、生産者が極端に減り続けています。例えば、キュウリ部会は合併当初340名いた部員が現在174名まで減っています。このままでは、産地を維持していくのが大変になります。なんとか、やる気のある若い農業後継者をJAやまがたと地域が一体となり、育てていかななくてはなりません。これまで、産地を担ってきた生

産者が高齢化を迎え、このままだと産地はなくなってしまいます。今こそ、後継者を育成することはJAやまがたの義務であるという強い思いからスタートしました。

——20年で約半分に生産者が減少しているとは驚きました。どのようにして後継者不足に歯止めをかけるのですか。

森谷 今までは、生産者自らが自分の土地に自己資金でハウスを建てて、作物を育て生産するのが普通でしたが、それでは、新しく農業を始めた人がいても、農業をする土地もなく、ハウスを建てる資金もなくては非常に大変です。そこで、初期投資の

かかる部分を、JAやまがた自らが支援し、生産基盤を整え、本気で農業をしたい、やる気のある人にハウスを貸し出ししようというのが、ハウス団地構想です。

——予算はどのように確保するのですか。

森谷 国・県・市の補助事業を最大限に活用し、他にもJAやまがたの営農振興策支援事業も検討しながら確保したいと考えています。

1ha準備する予定です

——ハウス団地の場所はどこですか？また、作る農作物は決まっていますか。

森谷 場所は西部営農センター近くに1ha、32棟のハウスを建設し最大で8名に貸出す予定です。作物はキュウリ又はトマトを生産者を選んでいただきます。

——出荷先はどこですか。

森谷 キュウリ選果場やトマト選果場をメインとし、また、JAやまがた直売所、その他にもいろんな出荷のやり方があると考えています。

初心者でもやる気のある人を支援します

——農業初心者でも挑戦して大丈夫ですか。

森谷 はい。プロの生産者はじめ、JAやまがたの営農指導員、県の普及課の先生からも加わってもらい指導していきます。また、地域一体で育てるような仕組み作りができればいいなと思います。



お話を伺った、営農経済部の森谷浩二部長。

——募集はいつから始まりますか。

森谷 6月頃から始める予定です。新たに農業を始めたい人、家は農家で、今はサラリーマンだが農業をやってみたい人等を募集したいと思っています。応募者が多い場合は審査等を行い、やる気や意気込みを確認したいと思っています。農業をやって、生計を立てていくんだという強い気持ちが必要です。

平成30年度から 生産できます

——では、いつから生産が始められるのですか。

森谷 平成29年度の補助事業を活用して、年度中には、ハウス団地を完成したいと考えています。実際、貸

し出すのは平成30年度の春の予定です。順調にいつて3月から始められればいいなと思っています。野菜ですの、その年のうちに生産し出荷することができると考えています。

将来は5haまで増やす 構想をしています

——今後の目指すところを教えてください。

森谷 年次計画を出しながらですが、最終的に野菜ハウス団地を5haまで増やす計画です。来年度はモデルとして果樹ハウス団地構想もスタートしたいと考えています。

野菜・果樹ハウス団地構想は、今年度スタートする1haの野菜ハウスの成功にかかっていますので、私達

も万全な態勢でサポートしていきたいと思っています。そして、後継者不足、担い手不足を少しでも解消し、産地を守り、生産量の拡大と、最大の目標である「農家所得の増大」に向けてJAやまがたが一丸となって取り組んでまいります。

県立農林大学校 「トラクター 運転技術研修」 のご案内

トラクター運転技能の向上を図り、免許取得を支援する研修

■開催期間
6月12日(月)～21日(水)

■受講対象
県内在住の農業者
※認定農業者を優先

■受講要件
普通自動車免許所持者で
65歳未満の方

■経費 6,000円

■募集人数 16名
※申込多数の場合は抽選となります。

■締切 5月26日(金)

■申込・お問い合わせ先

山形県立農林大学校研修部
「緑風館」

〒996-0052
新庄市大字角沢1366

TEL.0233-22-8794
FAX.0233-23-7537

※詳細は、あぐりんホームページ
(<http://agrin.jp/> 内テーマ別
情報「農林大学校」→サブメニュー
「研修案内」)を御覧ください。





クミアイ家庭薬のご案内 配置薬はメリットいっぱい！

24時間 いつでも使える

わざわざ買いに行く手間もなく、家の中を数歩歩けば手に取れます。

使った分だけ 後払い

ムダが出ないので、家計にもやさしい！

薬箱の中は オーダーメイド

70数種類の中から、ご希望にあわせて商品を選んで配置することができます。

災害などの 緊急時の備えに

いざという時に備えておくことは、大きな安心につながります。

お問い合わせ

経済課 TEL.023-624-8567 協同薬品工業(株)山形営業所 TEL.0238-88-5905

理事会だより

今回の報告・協議された項目から抜粋して掲載しています。

第1回理事会(3月27日開催)内容より

●報告事項

- ・組合員からの情報提供に関する報告書(株)くみあい畜産研修センター今後のスケジュール
- ・経営改革に係る進捗状況
- ・JAやまがた農作物災害防止対策本部設置要領、農作物盗難防止対策本部設置要領
- ・平成29年度さくらんぼ安定生産・集荷拡大運動実施要領

●協議事項

- ・農業経営法人等支援積立金、福祉目的積立金の取崩し
- ・平成28年度資産査定結果と貸倒引当金の計上
- ・平成28年度決算書の承認
- ・不良債権の処理方針
- ・支店協力組織の1支店1組織への再編
- ・定款の一部変更
- ・定款附属書総代選挙規程の一部変更
- ・地区総代会設置規程の一部変更
- ・農地利用集積円滑化事業規程の一部変更
- ・固定資産の取得ならびに遊休資産の利活用・処分計画
- ・信用事業方法書の変更
- ・平成29年度借入金の上限度額

DIRECTOR'S OPINION 2017 役員より VOL.26

理事 佐藤 栄作



農業を取り巻く環境の変化に対応

農業従事者の高齢化が顕著になり、耕作放棄地の問題や農地集約と規模拡大・後継者問題など、農業を取り巻く環境は大変厳しいものになっています。

若者が農業を職業として選択しない理由の一つには「収入の不安定性」があげられます。作ったものを販売してもらう時代から、情報を発信し、知恵を出し、消費者ニーズを分析し付加価値をつけて売る、且つ生産費を下げ「手取り所得が向上し儲かる経営」を実践しなければ、若者や志をもった新規就農者の農業定着は難しいでしょう。

すなわち、難局に直面した農業に異業種からの新規就農者の臨機応変な発想力と若者や女性の行動力、また我々既存の農業従事者のノウハウをうまく融合し、JAとしてサポートできる人材育成や支援体制づくりをしていく事がこれからの農業存続には必要不可欠です。

JAやまがた野菜ハウス団地構想も始まっております。今後も更なる改革と組合員の所得向上の為、取り組んで参ります。



後藤 凌治 ごとうりょうじ

■ 宮浦支店 金融共済課

①料理・サッカー ②米・キウイ ③組合員の皆様はじめ、地域の方々に笑顔をお届けられる職員となれるよう頑張ります。 ④後藤君からは宮浦支店の金融窓口を担当していただきます。新人らしく、元気で明るい挨拶を心掛け、お客様に信頼され可愛がっていただけるJA職員に育ってほしいと思います。(支店長 工藤 龍一)



設楽 貴史 したら たかし

■ 天神支店 金融共済課

①食べ歩き ②米・梨 ③早く組合員の皆様の役に立てよう頑張ります。 ④仕事を通じて自己を磨き、人間として大きく成長することを強く望みます。また若いセンスと行動力でベテラン職員、先輩を大いに刺激してください。そして、共にJAやまがたを盛り上げていきましょう。(支店長 中村 正悦)

平成29年度4月新規採用正職員紹介

NEW Face!

はじめまして！
どうぞよろしく
お願い致します！

①得意なこと ②好きな農産物 ③一言 ④所属長からのエール



吉田 捷大 よしだ としひろ

■ 営農経済部 園芸販売課

①物事を覚えること、人への気配り ②サクランボ、ブドウ ③まだまだ覚えることがたくさんありますが、これからの経験を通じて、成長していけるよう頑張ります。 ④「若さ」は大きな強みです。新しい発想と感性に期待しています。今のうちに色々なことを経験し、厳しいことがあっても、そこから学びを得て、自分の糧としてください。(課長 尾森 孝行)



相続税のご相談は資産サポート部へ！

相続に関する相談が増えており、昨年度は156件いただきました。組合員の皆様の立場にたち、専門家とともにベストなご提案をさせていただきます。

相談例

- 急に相続することになったが、何から手をつけたらいいのかわからない。
- 節税対策、納税資金対策にはどのような方法があるか。
- 現状ではどのくらいの相続税が発生するのか知りたい。

4月12日、JAやまがた本店で業務提携している税理士への委嘱状交付式を行いました。今後も組合員の皆様のお役に立てるようお手伝いさせていただきます。

お問い合わせ 資産サポート部
TEL.023-624-8260



今月の表紙

鈴木弘さん(山形市中野目)

鈴木さんは、中央ハウスさくらんぼ研究会の会長を務めており、ご夫婦でサクランボを生産しています。ハウスサクランボは平成15年より3棟作っており、露地のサクランボも生産しています。4月に紅さやかの出荷が始まると、その後、佐藤錦、紅秀峰と続き忙しい日々が続きます。「皆さんに美味しいサクランボをお届けるため元気に頑張りたい」と話してくれました。

good harvest

平成28年度山形県グッドハーベストコンクール 〈大豆の部〉南沼原営農団地組合 県知事賞

このコンクールは県内の大豆・そば・飼料用米の生産性向上を目指し、収穫量が多く、意欲的に経営や技術の改善に取り組む農業者、生産組織を表彰し、その成果を広く紹介することによって、大豆やそば、飼料用米の生産に取り組む農業者の意識の高揚と県民の理解を図ることを目的としています。

4月7日、6つの個人、団体の表彰式が行われ、西部営農センター管内の「南沼原営農団地組合」が大豆の部で見事、県知事賞を受賞しました。

受賞の主な理由として

- 若手育成のため、後継者世代の若いオペレーターが中心となり経営、栽培計画を行い、ほぼ全ての作業を担っている。
- 多収技術の実践に努めており、培土期追肥や葉面散布といった技術を実践している。
- 収量レベルは毎年東南村山地域でトップクラスである。

など、高い評価を得ました。

平成29年度の作付面積は前年度の24.9haをさらに増やし、31.2haを予定しています。

平成28年6月9日（播種作業）



南沼原営農団地組合 寺崎富栄組合長（前列左から2番目）



JAやまがたの農産物を 責任持って販売します JAやまがた青果物販売協力会

 東京千住青果株式会社 代表取締役社長 岩澤 均	 東京青果株式会社 代表取締役社長 川田 一光	 東京新宿ベジフル株式会社 代表取締役社長 忽那 文夫
 東一川崎中央青果株式会社 代表取締役社長 佐藤 義勝	 東京多摩青果株式会社 代表取締役社長 柏 武彦	 株式会社 石巻青果 代表取締役社長 近江 恵一
 横浜丸中青果株式会社 代表取締役社長 後藤 正明	 東京シティ青果株式会社 代表取締役社長 鈴木 敏行	 山形丸果中央青果株式会社 代表取締役社長 二ノ戸 長作
 京都青果合同株式会社 代表取締役社長 内田 隆	 金港青果株式会社 代表取締役会長 兼 社長 宮本 初義	 岐阜中央青果株式会社 代表取締役社長 松浦 弘
 大阪北部中央青果株式会社 代表取締役社長 三木 博司	 大阪中央青果株式会社 代表取締役社長 中島 康弘	 仙台中央青果卸売株式会社 代表取締役社長 安藤 堅太郎
 富山中央青果株式会社 代表取締役社長 青木 博二	 名古屋青果株式会社 代表取締役社長 吉田 真太郎	

安心・安全園芸事業推進大会

4月20日 山形国際ホテル

市場20社と生産者、JA関係者ら約90名が参加し、JAやまがた全体の販売高45億3,350万円の達成に向けて一致団結しました。

平成29年度園芸事業生産販売基本方針

■活力ある農業の振興と、組合員所得の向上を目指します。

平成28年度から32年度までの農業振興計画に沿い、地域との共生をすすめながら、担い手の育成・支援、農産物のブランド化を目標に、JAやまがた営農振興支援事業を活用し取り組みます。

■消費地での信頼を確立します。

統一ブランド品目の強化拡大と、所得の最大化に向け、一元販売によるロットの統一・拡大を広域部会組織と一体となり取り組むとともに、企画販売の強化と、積極的な消費宣伝活動を行います。



金港青果株式会社
宮本初義代表取締役会長兼社長
精度の高い情報交換、積極的な販売促進活動し、全力で安全安心なJAやまがたの青果物を現場に届けます



板垣平治郎代表理事組合長
農業の高齢化問題、担い手不足の解消するため、ハウス団地構想をスタートさせ、来年春から作物を栽培する予定です

■費用の低減に向けた取り組みを行います。

コスト削減のため、出荷用段ボール箱の規格・デザインの段階的な統一化と、良質で安価な資材の選定を行います。

■食育活動と地産地消運動に取り組みます。

おいしさ直売所、学校給食、わんぱくあぐりスクールなどの体験農業を通し、消費者とのふれあいを大切にします。

平成28年度 青果物安全対策事業決算書

(単位:円)

項 目		平成28年度計画	平成28年度末実績	備 考
事業収益	青果物安全対策費	21,000,000	22,886,026	販売品からの負担分
	その他			
	合 計	21,000,000	22,886,026	
事業費用	JA全農安全対策費	4,000,000	3,595,704	全農による分析費用
	分析関連事業費	3,000,000	1,144,000	日本環境科学(株)による分析費用
	販売中止保険料	4,500,000	2,411,570	共栄火災掛金
	広報宣伝費	2,000,000	1,785,342	安全・安心な品質の広報宣伝費用
	会議研修費	500,000	91,764	安全対策各種会議にかかる費用
	印刷・消耗品費	1,500,000	1,045,500	生産履歴書、協定書の印刷や用紙等の費用
	その他	5,500,000	4,683,902	事務書類管理備品費用、システム利用料等
組合員への返還金		—	8,128,244	
合 計		21,000,000	22,886,026	



山形南支店が営業スタート

4月24日、南金井支店、本沢支店、ふれあい山元店を統合して、「山形南支店」が新しくオープンしました。

開店神事、テープカット式には、JAの常勤役員や地元の理事らが約70名参加し、支店の繁栄を願いました。板垣平治郎組合長は「地域の皆さまから、愛され親しまれる支店にしたい」とあいさつしました。

山形南支店では開店への感謝を込め、職員が来店者に印鑑ケースと紅白餅をプレゼントしました。来協されたお客さまは「綺麗な支店で気持ちすがすがしいです」と笑顔で話してくれました。

新支店の支店長は旧南金井支店の狩野正弘支店長が務めます。



JAの企業説明会を開催 学生と職員が交流

JAやまがた本店で3月25日と26日の両日、平成30年度採用に向けた企業説明会を行い、多くの学生さんが参加しました。

人事部より当JAの概要説明後、金融・共済・営農の各現役職員が仕事紹介をしました。その後の各部門に分かれての職員と学生の交流の場では、「JAバンクと銀行の違いはありますか？」「入組前に取得した方がいい資格はありますか？」「失敗したときはどう乗り越えましたか？」などの質問に職員が丁寧に答え、熱心にメモをとる学生さんの姿が多く見受けられました。

初めは緊張気味だった学生さん達が、職員と話しJAのさまざまな事業を知り、晴れやかな表情で帰宅する姿が印象的でした。

ハウスサクランボ初出荷 母の日に向けてハート形のパック増やす

4月12日、中央ハウスさくらんぼ研究会はハウス栽培の早生品種「紅さやか」を初出荷し、関西方面の市場に空輸されました。

同研究会は14日、出荷最盛期に備え、山形市内3園地を巡回し、JAや全農山形の職員らと共に色づき具合や粒ぞろいを確認しました。

3月の寒さで栽培管理に苦労しましたが、品質はサクランボの粒や張りが良く良好です。

5月上旬にはハウス栽培の「佐藤錦」が出荷最盛期を迎える見込みで、5月14日の母の日に向けてハート形パックの出荷を増やし有利販売を目指します。

同研究会では10名が約1.7畝でハウスサクランボを生産しており、10㍲の出荷を見込んでいます。



太く大きく仕上がりました 本沢アスパラガス目揃え会

JAやまがた本沢そ菜部会アスパラガス研究会は3月29日、上山市の同JA久保手農業倉庫でアスパラガスの目揃え会を開きました。

同会は生産者13名で構成し、鮮度にこだわった安心・安全なアスパラガスを提供するため、朝採りしたものを当日のうちに出荷しています。

この日は生産者や市場関係者ら20名が参加し、穂先の曲がり具合や開きを手に取りながら意見を交わし、品質や規格、市場情勢を確認しました。

渡辺長四郎会長は「昨年の好天で養分を蓄えることができた、太く大きく仕上がった。ぜひ味わってほしい」と話していました。

今年の出荷量は平年並みの約13㍲を計画しています。



鮮やかに咲き始めました 花壇苗園地巡回

JAやまがた蔵王花卉（かき）園芸組合は4月6日、生産者と市場関係者ら8名で山形市と上山市内5カ所の花壇苗園地巡回を行い、生育状況を確認しました。

組合は現在6名で活動を行っていますが、最盛期は30名で東北一の生産量を誇っていました。園地巡回は毎年この時期に組合員全員で意見交換しながら行っており、より良い出荷ができるようにしています。

以前はポットに1本植えが主流でしたが、2本植えしポリウムを出したり、葉の緑色や背丈を揃え、見栄えを良くする工夫をしています。

この日は2月に種まきしたペチュニア、マリーゴールド、ペチュニアなどが鮮やかに咲き始めていました。



キュウリの出荷が本格化 選果場稼働スタート

JAやまがた西部キュウリ部会は3月30日、山形市のJAやまがたきゅうり選果場で安全祈願祭を行い、キュウリの選果作業が本格的にスタートしました。

JAやまがたは県内一のキュウリ生産量を誇り、JA全農山形の取り扱い量の約半分を占めています。

今年は2、3月の日照不足と低温で生育が若干遅れ、初出荷は昨年より5日遅い21日となりましたが、これからの天候回復に期待し、例年並みの出荷量2000㍲、販売額5億円を目指します。

清水利光部会長は「今年も品質は良好です。春先のキュウリは香り高く、甘みもあるので、ぜひ、みそを付けて食べてもらいたい」と話していました。

キュウリの出荷は5月下旬頃ピークを迎え、11月末まで続く予定です。



読者の広場

5月号のテーマ

母の日

④ 手作りの物は世界に一つですし、気持ちを込めて作ってくれたの
でしょうね。大切に使用してもらい、お嫁さんも嬉しいと思います。

● 茨城に住む母は92歳。毎年プレゼントを送っていますが、最近
の母は「何もいらないから元気に過ごせ」と同じセリフです。あと
何年聞けるかな? (山形市 Iさん)

④ 遠く離れていても、プレゼントを贈り、話すことでお母さんもIさ
んも、お互い元気をもらえるのでしょうか。いつまでもお元気でい
てほしいですね。

● 最近はその都度必要な物、食べ物などをプレゼントするようにな
りました。ちょっとでも母の喜ぶ顔が見たいので、いつまでも達
者でいられるよう親孝行したいです。(山形市 Sさん)

④ プレゼント選びは悩みますが、母の日はお母さんの喜ぶ顔を見
るのが楽しみです。

息抜き

クロスワード

あみがけの□部分に入る文字を
並べ替えて言葉を作りましょう。



クロスワードパズル+ / TAKAHASHI'S HOME PAGE
http://crossword.sakura.ne.jp/

→ヨコのカギ

- 扇状に広がる美しい羽を持ちます。
- 一度罹れば免疫が出来ます。
- アメリカやイギリスで使う液量の単位。
- ぬかに○○——手応えがありません。
- 漢字から派生した、日本固有の文字。
- 第一回ノーベル賞受賞者に。
健康診断でお馴染みの名前です。

↓タテのカギ

- 行方をくらまします。
- 真夜中です。
- バーベキューの必需品。
- 辛苦を共にする。
- 旅費。

当広報紙へのご意見・ご感想に加え、テーマに関するエピソード・
写真・絵葉書なども募集しています。

● 応募方法 / 「JAやまがた広報係」まで
下記のいずれかの方法でご応募くださ
い。応募者の「氏名、住所、電話番号」も
忘れずにご記入ください。

郵便 〒990-8535 山形市旅籠町一丁目12-35
Eメール kikakukanri@jayamagata.or.jp

● 締切 / 5月25日(木) (当日消印有効)

● プレゼント / 「クロスワード」正解者、またはご
意見、ご感想を下された方の中から抽選で3名
の方に「おいしさ直売所商品券1,000円分」を
プレゼント。当選者の発表は賞品の発送をもって
かえさせていただきます。

4月号のクロスワード答え: アスバラガス

6月号のテーマ

家庭菜園

あとがき

農作業が本格的に始まり、色んな作物の取材
にお伺いする時が増えてきました。お忙しい
ところ、取材に応じていただき、いつも感謝しております。今
月号より「直売所コーナー」を新設しました。いちごの食べ比
べをしましたが、甘さと酸味のバランスに香り、それぞれ特徴
があって驚きました。これからどのようなコーナーにしていけ
ばいいか模索中ですので、色んなご意見お待ちしております。

はつらつ！ 青年部

第50回青年部総会

3月16日、青年部第50回通常
総会が開かれ、22年目に入っ
た小学校での「チャレンジパケ
ツ稲作り」や「JAわんぱくあぐりスクール」での
稲刈り指導など、子ども達へ食の大切さや農業
への理解、環境への関心を深めてもらうために
今後も継続していくことを確認しました。



29年度新役員

部 長 熊谷 達郎さん(千歳支部)
副 部 長 室岡 和征さん(明治支部)
事務局長 渡辺 真也さん(南金井支部)

これからも、農業が果たす役割と魅力をアピール
していきます!

平成28年度 活動報告



5月21日/あぐりスクール田植え



5月31日/バケツ稲指導



7月7日/野立看板審査会



10月1日/あぐりスクール稲刈り



お問い合わせ 営農経済部 営農米穀課
TEL.023-624-8562



紅ほっぺ

「章姫」×「さちのか」
香りが高く、程よい酸味
が絶妙で、果汁も多い。



さちのか

「とよのか」×「アイベリー」
甘さが高く肉質も良好、
ビタミンCの含有量も多い。

イチゴの問い合わせ、
ジャム用の予約が
多くなっています。
色んなイチゴを食べ
比べて、お好みの味を
探してください

5月 直売所の 魅力をたっぷり お伝えします



南館直売所
菅野和恵さん

イチゴ

イチゴはビタミンCと「葉酸」が豊富に含
まれており、風邪予防や美肌効果、貧血
予防にも期待できます。



おとめ心

山形県オリジナル品
種。甘味と酸味のバ
ランスがベスト! 香り
が良いイチゴです。



保存方法 乾燥を防ぐためラップかポリ袋で覆い冷蔵庫へ。水洗いする
と果皮が弱るので、食べる直前に洗いましょう。ビタミンCが流れてしま
うので、ヘタ付きのまま洗いましょう。食べきれない場合は冷凍し、イチゴ
ミルク、スムージー、ジャムにするとおいしく食べられます。

お問い合わせ おいしさ直売所

南 館 店 TEL.023-645-5001

紅の蔵店 TEL.023-616-8001

鈴 川 店 TEL.023-631-2588

福祉センター青田

健康 コラム

vol.35

5月の通所介護



ドライブツアー (花めぐり)



外食ツアー (イーストワン)



畑教室 (挿し木作業)

認知症になりにくい生活習慣を!!

現時点では残念ながら「認知症にならない」という方法はありません。
しかし生活習慣をかなることで認知症になりにくいことが
わかってきています。
下記に具体的にまとめてみました。

- ①食習慣 …… 野菜、魚、果物を良く食べる。
- ②運動習慣 …… 週3日以上有酸素運動をする。
- ③対人接触習慣 …… 人とよくお付き合いをする。
- ④知的行動習慣 …… 文章を書く・読む・ゲーム(クイズ等)をする。
- ⑤睡眠習慣 …… 30分未満の昼寝、
起床後に2時間以内に日光を浴びる。

いつも若々しく、
おしゃれを忘れずに、
くよくよしないで
明るい気分での生活を
こころがけてみましょう。



お問い合わせ

福祉センター青田 TEL.023-616-8002

介護サービス事業/通所介護・訪問介護・福祉相談窓口